

令和5年度第1回車座トーク（5月19日隠岐の島町）でいただいたご意見に対する県の対応
 テーマ「隠岐で生きていく～島で見つけるビジネスチャンス～」

いただいたご意見	県の考え方・対応
<p>Iターンをし、隠岐に全くゆかりのない人も多くいる。中には、悩みを抱えて地元に戻ってしまう人もいる。島全体でもっとつながりができるよう、県や町で支援してもらえたらと思う。</p> <p>また、行政・民間が一緒になって任意団体的なものを作りたいと考えているので力添えいただきたい。</p>	<p>Iターン者が地域に溶け込みやすいよう、市町村やふるさと島根定住財団と連携して地域住民等との交流機会の提供や地域団体による定着促進の取組を支援しています。</p> <p>また、移住者が定着するために官民が協力して支援することは重要と考えており、市町村と協調しながら取り組んでまいります。</p>
<p>（島民やツアー客以外の）航空運賃が安くなるとよい。</p>	<p>県では、重点要望や、共通の課題を持つ都道県との共同要望で、航空路運賃の低廉化の対象となる路線や準住民の対象範囲について、拡大するよう、国に働きかけております。</p> <p>引き続き、国に働きかけてまいります。</p>
<p>経済的な状況に関わらず子どもの学力の底上げが必要。</p>	<p>経済的な状況にかかわらず児童生徒の学力の底上げは義務教育の機会均等の点から重要です。児童生徒の学力について、授業はもちろん、家庭学習支援や放課後等の学習サポート等、学校教育活動を通して育成を図っていきます。</p>
<p>島根県は学力調査の成績が悪いのが気になる。学校の単語テストの問題と、学力調査の問題の出題方法が違うためだと思っている。学校では時間がなくその対策ができていないため、子どもたちは苦しんでいる。</p>	<p>島根県学力調査の中学校英語の状況として、令和3年度、令和4年度とも「テーマや対話の流れに沿って英文を書くなど、場面や状況に応じて既習の語彙や文法を活用して英文を書く力に課題が見られます。調査結果よりすべての教科で活用できる「授業チェックリスト」や「各教科の指導の重点」等を活用した授業改善により、学習指導要領で求められている学力をはぐくんでいきます。</p>

○今後の取組を検討するうえで参考とさせていただきご意見

- ・夜に町を歩く人が少ない。もっと夜に観光する場所があればよい。